レッツスタディー!
世界のウチナーンチュ

Let's Study!

"Worldwide Uchinanchu"

知って、伝える、はじめの一冊。

The first book to know and talk.

Okinawa Prefectural Government

Let's Study!

"Worldwide Uchinanchu"

START

万国津梁

1458年、
尚泰久王が鋳造させ、
首里城正殿前に
かけられた梵鐘
【旧首里城正殿鐘】
（万国津梁の鐘）

かつて琉球王国という独立国だった沖縄は、中国を中心としたアジア諸国との貿易により栄えました。琉球の先人達は世界の人々との交流により、海外の優れた文化を取り入れて独特の琉球文化をつくり上げてきました。先人達が織りなした歴史が世界に羽ばたくウチナーンチュの礎となっています。

1 世界のウチナーンチュ大会って何？

沖縄にルーツを持つ沖縄県系人が
世界中から沖縄に集まる一大イベント。
1990年の第1回から
沖縄県や関係機関で組織される
世界のウチナーンチュ大会実行委員会が主催し
おおむね5年に1回のペースで
開催されています。

詳しくはP.02へ

2 世界のウチナーンチュの日

沖縄県では
2016年に10月30日をみんなで祝える
「世界のウチナーンチュの日」
として制定しました。
どんな想いが込められているのでしょうか。

詳しくはP.04へ

3 世界・全国に広がる県人会

世界にはウチナーンチュ（県系人）が
約42万人いるといわれ
特にハワイや北米、中南米に多くいます。
一方で、近年ではアジアに移住する
ウチナーンチュも増えています。

詳しくはP.08へ

4 沖縄移民の歴史

どうして世界中に
ウチナーンチュがいるのでしょうか？
それには移民という歴史が深く関わってきます。
沖縄からの移民の歴史は長く
1899年にハワイに向かった27人が最初です。
その後、中南米、北米、東南アジア等
多くの国に渡りました。

詳しくはP.18へ

5 沖縄に暮らす日系移民の声

かつて世界中で受け入れられてきた
ウチナーンチュですが現在の沖縄は多くの
外国人が移住している多文化の県となりました。
移民したウチナーンチュの子孫（二世、三世）の
中には沖縄に帰ってきた人達もいます。
どんな思いで暮らしているのでしょうか。

詳しくはP.22へ

Let's Try!

沖縄の移民クイズ

GOAL

6 レッツスタディー！世界のウチナーンチュ

世界のウチナーンチュに関わるスポットや
イベント、研修などさまざまなコンテンツから
世界のウチナーンチュについて
学ぶことができます！

Let's study! P.28へ

What is "The Worldwide Uchinanchu Festival"

「世界のウチナーンチュ大会」って何？

これまで、ウチナーンチュ同士の絆を深める交流プログラム(パレード、開会式・閉会式、スポーツ交流イベント）や文化や伝統芸能を体験できるプログラム(各伝統芸能鑑賞会、しまくとぅば語やびら大会)、異文化理解を深めるイベント(レッツスタディーワールドウチナーンチュ、ワールドバザール)など、様々なイベントが行われてきました。

どんな人が参加しているの？

世界のウチナーネットワークの仲間になりたい！と思う人であれば、誰でも参加OK！

世界で活躍するウチナーンチュとの幅広い分野におけるウチナーネットワークづくりを目的に開催しています。世界のウチナーンチュと繋がりたい！という人は誰でも参加することができます。

ウチナーンチュ大会の魅力

各国のウチナーンチュと出会い、沖縄の歴史、文化、芸能を体感し、アイデンティティを再確認

海外からの参加者は、大会に参加して初めて知る沖縄の歴史や文化、芸能など本場沖縄の魅力に触れることができます。また、各国のウチナーンチュとの出会いを通して自らのアイデンティティを確認する人も。

各分野における「世界のウチナーネットワークの構築」が目的の「世界のウチナーンチュ大会」。現在は、経済団体や文化芸能団体の派遣交流、沖縄にルーツを持つ若者達の招聘や、県内の若者を海外県人の暮らす国へ派遣する事業等様々なプログラムが実施されています。第４回大会からは、次世代ネットワークの継承を若者自らが掲げ､「世界若者ウチナーンチュ大会」も開催されています。このように沖縄県の国際交流は世界のウチナーンチュ大会を軸に多分野で展開されています。

1990

第1回
世界のウチナーンチュがやってきた！！

1990年8月23日～26日
入場者：約47万人
海外：約2,400人（17ヶ国、1地域）
沖縄コンベンションセンター、
宜野湾海浜公園など

1995

第2回
海を超え、言葉を超えて

1995年11月16日～19日
入場者：約52万人
海外：約3,400人（24ヶ国、1地域）
沖縄コンベンションセンター、
宜野湾海浜公園など

2001

第3回
未来ーちゅら夢心にのせて

2001年11月1日～4日
入場者：約27万人
海外：約4,000人（19ヶ国、1地域）
沖縄コンベンションセンター、
宜野湾海浜公園など

2006

第4回
ひろがるチムグクルつなげる　チムチュラサ

2006年10月12日～15日
入場者：約32万人
海外：約4,400人（21ヶ国、1地域）
沖縄コンベンションセンター、
宜野湾海浜公園など

2011

第5回
ちゅら島の魂響け未来まで

2011年10月13日～16日
入場者：約42万人
海外：約5,300人（24ヶ国、1地域）
沖縄セルラースタジアム那覇、
奥武山公園など

2016

第6回
ウチナーの躍動・感動世界へ響け！

2016年10月27日～30日
入場者：約43万人
海外：約7,300人（27ヶ国、1地域）
沖縄セルラースタジアム那覇、
奥武山公園など

世界のウチナーンチュの日

World Uchinanchu Day

2016年開催の第6回「世界のウチナーンチュ大会」には
海外、そして県外からも多くの参加者が集いました。その大会フィナーレにおいて
世界に広がるウチナーネットワークを継承し
発展させていきたいという願いを込めて
10月30日が「世界のウチナーンチュの日」として制定されました。

宣言文（全文）

我々は今日、世界のウチナーンチュのみなさんに伝えたい。
　我々ウチナーンチュは、持っている。
　我々ウチナーンチュは、未来を創造する力を持っている。
　我々ウチナーンチュは、未来への希望を持っている。
　我々ウチナーンチュは、世界へ飛び立つ勇気を持っている。
　我々ウチナーンチュは、互いを許し合う寛容の心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、互いを助け合う相互扶助の心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、豊かな伝統文化を持っている。
　我々ウチナーンチュは、困難に打ち勝つ不屈の精神を持っている。
　我々ウチナーンチュは、先祖への感謝の心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、家族を愛する心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、出会った人を愛する心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、郷土を愛する心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、平和を愛する心を持っている。
　我々ウチナーンチュは、ウチナーンチュであることに誇りを持っている。
　ウチナーンチュは一つになる。

5年の時を経て、今日、また、
世界中からウチナーンチュが集い、心が一つになった。
ウチナーンチュがウチナーンチュであることを祝おうではないか。
ふたたび世界中からウチナーンチュが集まった今日10月30日を祝い、
「世界のウチナーンチュの日」としようではないか。
今日10月30日を「世界のウチナーンチュの日」とし、
この誇りを我々ウチナーンチュの魂に刻み込もうではないか。

ここに、誇りを持って宣言します。
今日は、「世界のウチナーンチュの日」です。
今日は、めでたい「世界のウチナーンチュの日」です。

おめでとう、世界のウチナーンチュ。いっぺーにふぇーでーびる。

10.30 世界のウチナーンチュの日 WORLD UCHINANCHU DAY

WUN（ Worldwide Uchina Network）

一般投票の結果、有効投票総数 5,171 票のうち、最多得票数を獲得したロゴマークです。デザインコンセプトは、中央に地球、その周りを囲むように人を配置しており、世界各国それぞれの地域で頑張るウチナーンチュを星に見立てています。世界のウチナーンチュがつながることで、素晴らしい未来に羽ばたけることを表現しています。

Interview

世界のウチナーンチュの日 提案に込めた想い

The Feelings Contained in
"The World Wide Uchinanchu Day" Proposal

「世界のウチナーンチュの日」の制定を沖縄県に提案したのは
アルゼンチン日系３世の比嘉アンドレスさんと
ペルー日系３世の伊佐正アンドレスさんです。

なぜ、「世界のウチナーンチュの日」を提案したのでしょうか？
そこにはおふたりの経験や想いが詰まっていました。

ふたりのアンドレスさんに
お話を聞きました

比嘉アンドレスさん

アルゼンチン日系3世
名護市国際交流会館職員

ルーツは名護市東江と
名護市屋部

伊佐正アンドレスさん

ペルー日系3世
名桜大学事務職員

ルーツは東村と
スペインのバスク地方

南米と沖縄の懸け橋になりたい
—比嘉アンドレスさん

アルゼンチンで医学部に通っていた比嘉アンドレスさんは、学費を稼ぐために日本に出稼ぎに来ました。うーとーとー（墓参り）をかねて沖縄県を訪れたのをきっかけに、親戚から「名桜大学で勉強したらどうか？」という話を受け、2008年に入学することができました。
「卒業したら沖縄に残って南米との懸け橋になろう」と決めた比嘉さんは、名桜大学初の南米出身の大学院修了生となったのちに、現在は名護市の国際交流会館に勤めています。

留学がきっかけで沖縄を好きに
—伊佐正アンドレスさん

ペルーで小学校から高校まで日系の学校に通っていた伊佐正アンドレスさんは、日本語の勉強を兼ねて名桜大学へ1年間留学しました。それまで沖縄には興味がなかった正さんですが、沖縄の人たちの温かい歓迎を受けて沖縄に残ることを決めました。留学を経て、2010年に入学した名桜大学では、日本語でのレポートや試験に大変な苦労をしましたが、努力の甲斐もあって無事に卒業。現在は名桜大学の国際交流課で留学生の受入業務を担当しています。

沖縄を好きな人みんなが心を一つにして祝う日をつくりたい

アンドレスさんと正さんは、沖縄の「慰霊の日」や「本土復帰の日」の背景には戦争があり、お祝いできる気持ちになれないことに気づきました。離島も含め、島全体で祝う日を作りたいと思い、「世界のウチナーンチュの日」の制定を2016年3月に名護市議会に提案しました。
そこには、「海外にいるウチナーンチュも、沖縄にいるウチナーンチュも、沖縄が好きな人も一緒に祝えるように」という思いが込められています。

世界のウチナーンチュの日を歴史の節目に

10月30日を選んだ背景には、「移民関係者だけの日ではなく、沖縄に縁のあるみんなが祝える日にしたかった」というアンドレスさんと正さんの思いがあります。おふたりは「今まで頑張って努力してきた先人達への感謝の気持ちと、これから生まれてくる子たちや未来への希望を込めて、『世界のウチナーンチュの日』の周知に取り組んでいきたい」と、話しています。

世界のウチナーネットワーク
Worldwide Uchina Network
—沖縄の誇り心に刻もう伝えよう—

世界中の県人会の活動の紹介や、コラムや動画コンテンツも用意しています。２人のアンドレスさんの「世界のウチナーンチュの日の宣言」動画も見られます。

【WUN動画】
世界のウチナーネットワークについて、アニメーション動画で紹介。子どもも楽しく学ぶことができます。

【The 6th World Uchinanchu Festhival】
過去の世界のウチナーンチュ大会の様子を動画で見ることが出来ます。大会の雰囲気を味わってみませんか？

【ウチナーコラム】
世界のウチナーンチュの活動について
知ることが出来るコンテンツです。

（左頁）写真提供：One Okinawa

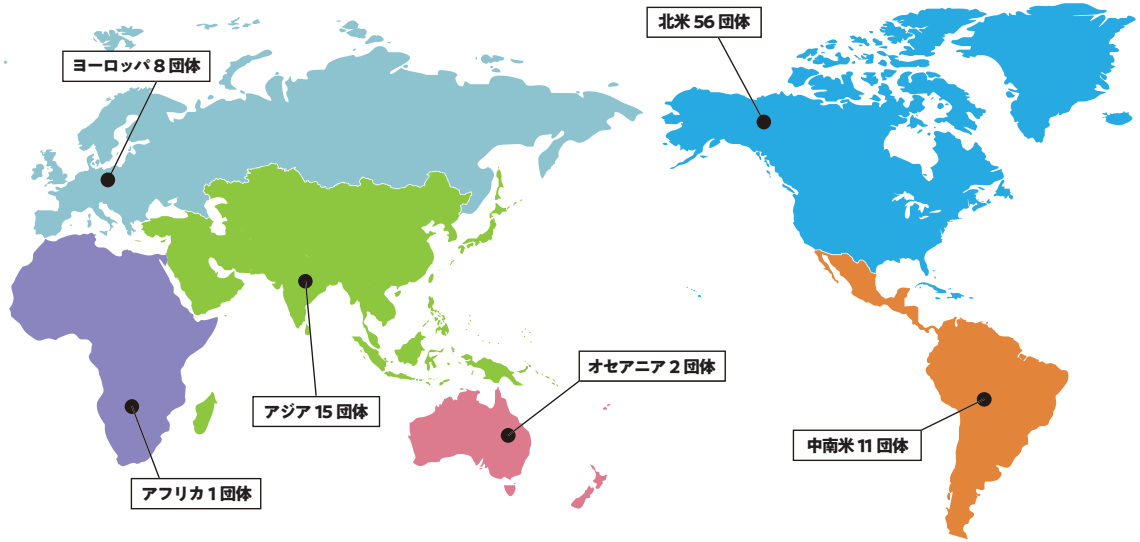
Okinawa Kenjinkai Around The World

世界に広がる県人会

Expanding the Uchina Network into the future

未来に広がるウチナーネットワーク

かつて海を越え、世界中に移り住んだウチナーンチュたちは、言葉・風土・文化が異なる地で、互いに支え合い親睦を深める中で、県人会を築いてきました。現在、海外で暮らす沖縄県系人は約42万人と推計され、海外で活動する沖縄県人会は90団体以上あり、移住100周年を超えた団体もあります。世界に広がる沖縄県人会は、ウチナーンチュの絆を結び、アイデンティティを継承していく上で大切な役割を果たしています。



ヨーロッパ

イギリス
イギリス沖縄県人会

スウェーデン
スウェーデンウチナーンチュ会

スペイン
スペイン沖縄県人会

ドイツ
ドイツ沖縄県人会

フランス
フランス沖縄県人会

ノルウェー
ノルウェー沖縄県人会

スペイン
カナリー沖縄県人会

フランスニューカレドニア
ニューカレドニア沖縄日系人会

アフリカ

ザンビア
ザンビア沖縄県人会

オセアニア

オーストラリア
シドニー沖縄県人会

オーストラリア
オーストラリアゴールドコースト沖縄県人会

アジア

インドネシア
ジャカルタ沖縄会

シンガポール
星琉会

タイ
タイ国沖縄県人会

フィリピン
フィリピン沖縄県人会

インド
インド沖縄県人会

マレーシア
マレーシア沖縄会

台湾
台湾在住沖縄県人会

中国　香港
香港沖縄県人うりずん会

中国　福建省
福建省沖縄県人会

中国　上海市
上海沖縄賢人会

中国　天津
天津沖縄県人会

中国　北京
北京沖縄県人会

中国　大連
大連沖縄県人会

韓国　ソウル
韓国沖縄県人会

ベトナム　ホーチミン
ベトナム島んちゅ会（沖縄県人会）

北米

カナダ
バンクーバー沖縄県友愛会

カナダ
カルガリーオキナワ　クラブ

カナダ
レスブリッジ沖縄文化協会

カナダ
トロント球陽会

カナダ
カナダ沖縄県人連合会

アメリカ　ミネソタ州
ミネソタ沖縄県人会

アメリカ　ハワイ州
ハワイ沖縄連合会

アメリカ　カリフォルニア州
北米沖縄県人会

アメリカ　カリフォルニア州
サンフランシスコ沖縄県人会

アメリカ　カリフォルニア州
サンディエゴ沖縄県人会

アメリカ　カリフォルニア州
サクラメント沖縄県人会

アメリカ　ワシントン州
ワシントン州沖縄県人クラブ

アメリカ　ユタ州
ユタ州沖縄県人会

アメリカ　アラスカ州
アラスカ沖縄県人会

アメリカ　コロラド州
コロラド州沖縄県人会

アメリカ　テキサス州
オースティン沖縄友の会

アメリカ　テキサス州
エルパソ沖縄県人会

アメリカ　テキサス州
ダラスポートワース沖縄県人会

アメリカ　オレゴン州
オレゴンウチナーンチュ県人会

アメリカ　テキサス州
DFW チャンプル沖縄県人会

アメリカ　テキサス州
沖縄県人会パート2（インターネット県人会）

アメリカ　テキサス州
ヒューストン沖縄県人会

アメリカ　テキサス州
サンアントニオ沖縄ゆうなの会

アメリカ　テキサス州
かりゆし沖縄ダラステキサス県人会

アメリカ　イリノイ州
シカゴ沖縄県人会

アメリカ　イリノイ州
中西部沖縄県人会

アメリカ　インディアナ州
インディアナ沖縄県人会

アメリカ　インディアナ州
沖縄遊友会

アメリカ　ミズーリ州
セントルイス沖縄県人会

アメリカ　ニューメキシコ州
ニューメキシコ沖縄県人会

アメリカ　アリゾナ州
トウーソンアリゾナ県人会

アメリカ　アリゾナ州
フェニックス沖縄県人会

アメリカ　カンザス州
カンザス州沖縄友の会

アメリカ　ニューヨーク州
米国東海岸沖縄県人会

アメリカ　ニューヨーク州
ニューヨーク沖縄県人会

アメリカ　ワシントン DC
ワシントン D.C. 沖縄会

アメリカ　ジョージア州
アトランタ沖縄県人会

アメリカ　グアム
グアム沖縄県人会

アメリカ　ジョージア州
ジョージア琉球郷友会

アメリカ　ジョージア州
サウスジョージア沖縄クラブ

アメリカ　フロリダ州
ペンサコーラ沖縄連合会

アメリカ　フロリダ州
フロリダ沖縄県人会（がじゅまる会）

アメリカ　フロリダ州
タンパベイ沖縄県人会

アメリカ　フロリダ州
スペイスコースト沖縄県人会ゆいまーる会

アメリカ　アラバマ州
アラバマ沖縄県人会

アメリカ　アラバマ州
アラバマ琉球郷友会

アメリカ　ノースキャロライナ州
フェイエットビル沖縄県人会

アメリカ　ノースキャロライナ州
ジャクソンビル沖縄県人会

アメリカ　ペンシルベニア州
沖米文化普及協会

アメリカ　オハイオ州
オハイオ沖縄友の会

アメリカ　メリーランド州
沖米 沖縄県人会

アメリカ　ミシガン州
ミシガン沖縄県人会

アメリカ　ミシガン州
ミシガン沖縄県人会ちむぐぐる会

アメリカ　ネバダ州
ラスベガス沖縄県人会

アメリカ　ルイジアナ州
ニューオリンズ沖縄県人会（ゆんたく会）

アメリカ　ネバダ州
沖縄ファンオキ会

中南米

アルゼンチン
在亜沖縄県人連合会

キューバ
キューバ沖縄友好協会

キューバ
青年の島県人会

ペルー
ペルー沖縄県人会

ブラジル
ブラジル沖縄県人会

ブラジル　南マットグロッソ州
カンポグランデ沖縄県人会

ベネズエラ
ヴェネズエラ沖縄県人会

ボリビア
ボリビア沖縄県人会

ボリビア
オキナワ日本ボリヴィア協会

メキシコ
メキシコ沖縄県人会

コスタリカ
コスタリカ共和国沖縄県人会

出典：沖縄県海外沖縄県人会資料（2017年3月時点）

Okinawa Kenjinkai Around The World

世界に広がる県人会

Expanding the Uchina Network into the future

未来に広がるウチナーネットワーク

世界各国 90 団体以上ある県人会は
伝統を学んだり、親睦を深めたり、活動内容もさまざま。
その様子を一部、ご紹介します。

北米：北米沖縄県人会

（アメリカ カリフォルニア）

1909年に設立された「南加沖縄県人会」が北米沖縄県人会の前身。会員の親睦を深め、相互援助、沖縄文化の継承、社会奉仕に努めています。会員は60歳以上が多いですが、近年、沖縄芸能に惹かれて、踊りや歌、太鼓を習う若者も少しずつ増えてきています。毎年、新年会、芸能公演、夏のピクニック、敬老会、高校卒業生への奨学金授与、二世ウィークのパレード参加など、世代を超えて皆で楽しめるイベントを開催し、会員や地域社会への文化、教育、親善活動を行っています。

ヨーロッパ：英国沖縄県人会

1982年に設立。毎年、新年会、サマーピクニック、忘年会等を行っています。2009年から慰霊の日がある6月に、ロンドン沖縄三線会と「おきなわデー」を実施しています。三線会では2005年・2019年に園田青年会からエイサー指導を受け、エイサー、琉球舞踊、三線古典音楽の演奏、空手の演武などを行い、会場にはぶくぶく茶の茶会、沖縄の食べ物の販売や沖縄の伝統工芸、観光情報等の展示ブースを設置するなど、沖縄の認知を向上に取り組んでいます。来場者数は8,000名以上にもなり、イギリスと沖縄の相互理解を深めています。

南米：ペルー沖縄県人会

援護部、文化部、スポーツ部、青年部、研修部などの部会を持ち活動しています。芸能と食を楽しめる沖縄まつり、市町村対抗のゲーム・レクリエーションや歌合戦などが繰り広げられるオキナンピアーダスというスポーツ大会、民謡や舞踊教室の成果を発表するウチナー演芸会の他、各市町村人会が主催する催しも多く、毎月沖縄文化に触れることができます。また沖縄県のウチナーンチュ子弟等留学生受入事業で１年間沖縄県へ留学した若者や市町村で研修を終えた若者のOBOG団体「KIMUTAKA」も県人会の催しをサポートしています。

アジア：在台湾沖縄県人会

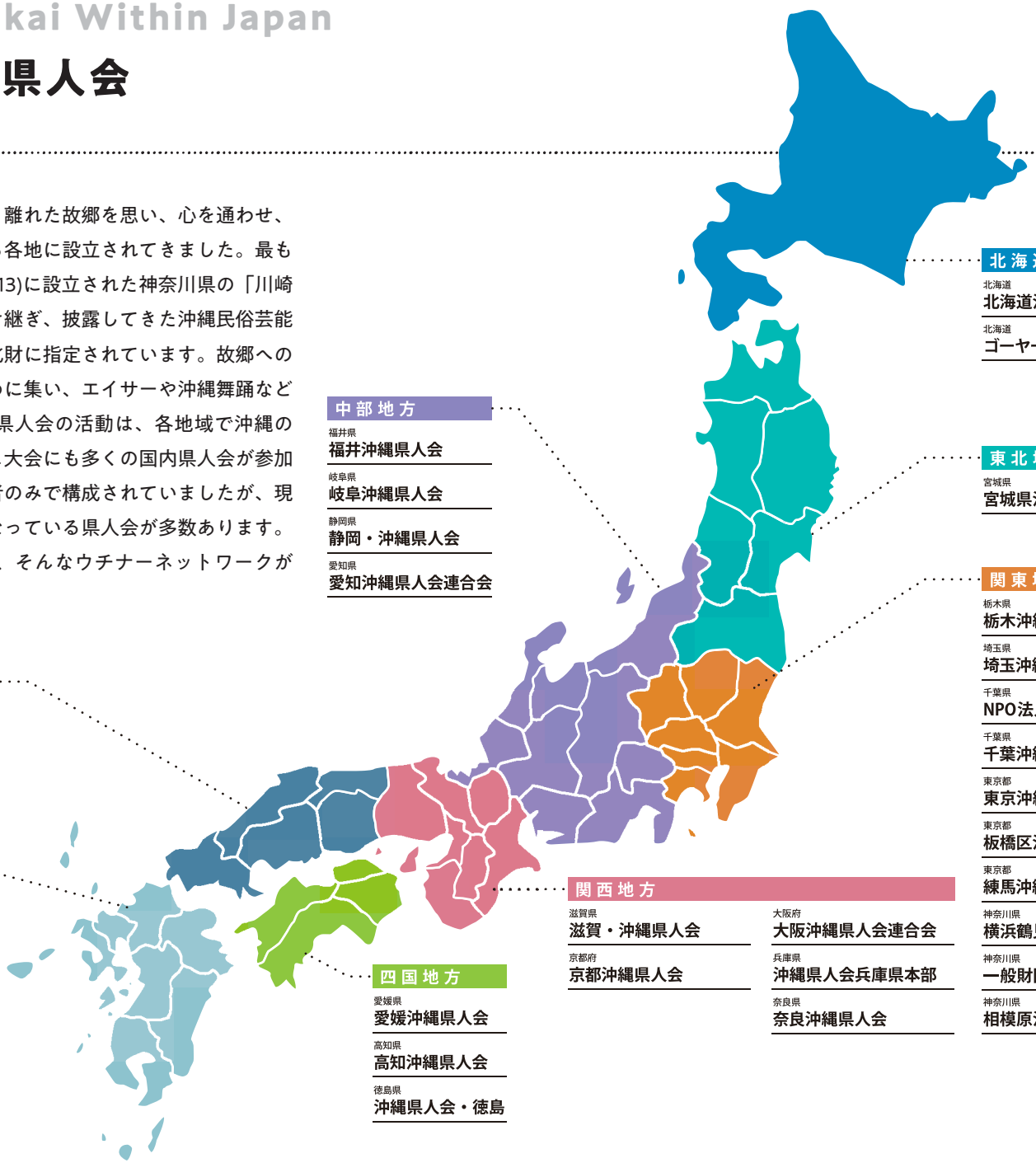
台湾からみて沖縄は、一番近い位置にある日本です。先人の時代から琉球と台湾の交流の歴史は深く、今でも多くのウチナーンチュが台湾と関わりを持っています。在台湾沖縄県人会は、1992年にスタートしました。近年は台湾に進出する沖縄の企業や留学生等も増え、150名ほどの会員で構成されています。会員の親睦活動及び情報交換を行い、ウチナーンチュのネットワークを通じ、将来の沖縄の発展に貢献することを主たる目的として活動しています。

執筆：比嘉千穂（WYUA）

Okinawa Kenjinkai Within Japan

全国で活動する県人会

日本全国に広がる沖縄県人会。遠く離れた故郷を思い、心を通わせ、支え合う相互扶助の精神で戦前から各地に設立されてきました。最も古い歴史を持つのは、1924年(大正13)に設立された神奈川県の「川崎沖縄県人会」です。県人たちが受け継ぎ、披露してきた沖縄民俗芸能は、神奈川県と川崎市より無形文化財に指定されています。故郷への思いを胸に、親睦と交流を図るために集い、エイサーや沖縄舞踊など沖縄の芸能文化をこよなく愛する県人会の活動は、各地域で沖縄の魅力を発信。世界のウチナーンチュ大会にも多くの国内県人会が参加しています。かつては、沖縄出身者のみで構成されていましたが、現在では沖縄が好きな方々も会員になっている県人会が多数あります。沖縄を想う気持ちで結ばれている、そんなウチナーネットワークが国内に広がっています。



北海道地方

北海道
北海道沖縄クラブ

北海道
ゴーヤーの会

東北地方

宮城県
宮城県沖縄県人会

関東地方

栃木県
栃木沖縄県人会

埼玉県
埼玉沖縄県人会

千葉県
NPO法人千葉沖縄県人会

千葉県
千葉沖縄県人会

東京都
東京沖縄県人会

東京都
板橋区沖縄県人会

東京都
練馬沖縄県人会

神奈川県
横浜鶴見沖縄県人会

神奈川県
一般財団法人川崎沖縄県人会

神奈川県
相模原沖縄県人会

中部地方

福井県
福井沖縄県人会

岐阜県
岐阜沖縄県人会

静岡県
静岡・沖縄県人会

愛知県
愛知沖縄県人会連合会

関西地方

滋賀県
滋賀・沖縄県人会

京都府
京都沖縄県人会

大阪府
大阪沖縄県人会連合会

兵庫県
沖縄県人会兵庫県本部

奈良県
奈良沖縄県人会

中国地方

鳥取県
鳥取沖縄県人会

岡山県
岡山沖縄県人会

広島県
広島沖縄県人会

四国地方

愛媛県
愛媛沖縄県人会

高知県
高知沖縄県人会

徳島県
沖縄県人会・徳島

九州地方

福岡県
福岡沖縄県人会

熊本県
熊本沖縄県人会

宮崎県
宮崎沖縄県人会

鹿児島県
在鹿児島沖縄県人会

大分県
大分沖縄県人会

出典：沖縄県国内沖縄県人会資料（2018年5月時点）

Okinawa Kenjinkai Within Japan

全国で活動する県人会

1924年に設立された川崎沖縄県人会を皮切りに、全国33ある国内の県人会。それぞれに趣向を凝らして、文化の振興や魅力の発信、親睦を深める活動が行われています。

東京沖縄県人会

沖縄の本土復帰に向けて大きな役割を果たしてきた歴史を持ち、現在は「３つのわ（会員の明るい輪・楽しい和・交流の環）」をスローガンに活動を行っています。沖縄芸能フェスティバルなどイベントの開催のほか、40年以上の歴史を誇る機関誌『月刊おきなわの会』も発行しています。近年では、東京オリンピックでの沖縄芸能・文化の発信に向けた取り組みを行っています。

北海道沖縄クラブ

毎年開催の沖縄フェスティバルで沖縄の芸能や文化を楽しむなど、毎回500人以上が参加する泡盛を楽しむ集いを中心に、南国沖縄の食文化や心豊かな生活の紹介など北海道と沖縄の絆を強める取組が行われています。沖縄に想いを寄せる道産子（北海道人）と一緒に、三線教室、子どもエイサー、祭り太鼓などが多数開催されています。

宮城沖縄県人会

戦後に沖縄県出身の小児科医が沖縄からの留学生を集め世話をしたことをきっかけに結成されました。また東日本大震災の際には、今帰仁村から来た方がエイサーを踊ったことがきっかけとなり、石巻でエイサー隊が結成され、現在も活発に活動を行っています。

横浜・鶴見沖縄県人会

10の郷友会と亀寿会（老人会）、青年部で構成されております。世帯数は約200世帯。主な活動は、角力大会、納涼大会、おきつる大運動会、おきつる芸能祭、敬老・生年祝賀会、もちつき大会などです。とりわけ島相撲とも呼ばれる角力大会は、鶴見では戦前から行われていて、本土では鶴見でしか見ることができない貴重な催しとなっています。

京都沖縄県人会

沖縄のことが大好きな京都市民が結成した沖縄ファン倶楽部とともに活動を行っています。毎年5月に琉球国王尚寧王ゆかりの檀王法林寺で、沖縄の伝統芸能や料理、泡盛を楽しむ沖縄フェスタを開催し、京都と沖縄のつながりを深めています。

沖縄県人会兵庫県本部

本部・支部（地域別に13支部）・婦人部・青年部によって毎月のようにさまざまなイベントが行われています。若い人たちが当たり前のように誇らしく沖縄を語ることができるよう、青年部で自分たちのルーツである沖縄への研修旅行を実施しています。2018年度より子ども向けの行事も始めました。

広島沖縄県人会

1964年に設立。沖縄の魅力を広島の人々にアピールすることを大切にし、「フラワーフェスティバル」で沖縄そばやゴーヤチャンプルーなどの販売を行っています。さらに三線や沖縄舞踊などの団体の活動も盛んで、毎年100人以上が参加するトゥシビー（生年祝い）でその成果を披露しています。

執筆：藤浪海

七転び転(ななくる くる)でぃひやみかち起(う)きてぃ
我(わ)したこの沖縄世界に知(くぬうちなーしけー し)らさ

七転び転んでも「エイ」と言って起きよ
私たちのこの沖縄を世界に知らせよう

平良 新助

1876年（明治9年）～1970年（昭和45年）今帰仁村出身。
海外移民とウチナーネットワークの基礎を築いたひとり。
平良新助が詠んだこの琉歌から民謡 ひやみかち節 が生まれました。

沖縄移民の歴史

戦前と戦後、世界中に旅立った沖縄移民。多くの苦難を乗り越えて
世界中でウチナーンチュが活躍しています。その歴史を少し、紐解いてみましょう。

戦前移民と、移民を送り出した理由

沖縄県の移民は、1899年にハワイに向かった27人をもって始まります。沖縄県の移民の送り出しについては、當山久三の尽力によるところが大きいと言われています。當山は、沖縄の人々の貧困や抑圧された状態をどうにか打開したいと考えていました。その打開策の一つとして移民の送り出しを進めました。
移民を送り出した背景には、琉球処分後の土地整理による移動の自由化、金納制による負担増や、「ソテツ地獄」と呼ばれる大不況等があるとされています。
ハワイ移民に続いて、アメリカ合衆国本土やメキシコ、フィリピン、ニューカレドニア、ペルー、カナダへの移民も送り出されるようになりました。しかし1908年にアメリカと日本が「日米紳士協約」を結んだことから、ハワイと合衆国本土への移民の送り出しに制限を受けると、ついに1924年には「排日移民法」が成立し、ハワイと合衆国本土への渡航は完全に門戸を閉ざされてしまいます。その打開策として出てきたのが、ブラジルをはじめとする南米への移民でした。

「モーキティクーヨー（儲けてきてね）」との期待を受け、たくさんの人々が移民として海外へ渡りますが、想像以上の厳しい労働環境に苦労を強いられました。加えて、差別や偏見も受けさらに厳しい状況におかれました。それでも、沖縄に暮らす家族のため、またより良い生活を夢見て、皆で助け合い・励まし合いながら困難を乗り越えてきました。
海外への移民だけでなく、県外への出稼ぎや八重山への炭鉱移民も送り出されました。また、日本が領土を広げていく中で、台湾や南洋群島、朝鮮、満州などへも多くの人々が移住していきました。はじめは単身の男性が移住しましたが、家族で移住する人々もいました。先に移住している男性と写真によるお見合いと文通で結婚することを決意し、夫の住む国へ移住する「写真花嫁」として移住する女性たちもいたといいます。多くは数年稼いで沖縄に帰ろうと思っていましたが、移住先で家族ができるなど様々な理由で定住していくこととなります。

フィリピンでは麻栽培に従事した人が多く、
動力機が普及すると製造量が増加した。（フィリピン）
写真提供：読谷村史編集室

台湾製糖株式会社の農場。1938年（台湾）
写真提供：読谷村史編集室

新天地を求めて多くの人が旅立っていった那覇港。
戦後、南米への移民船の出発式風景。
写真提供：キーストンスタジオ蔵　那覇市歴史博物館

琉球政府による計画移民により、戦後多くの人がボリビアに渡った。高く設置した干場に収穫した米を広げる。（ボリビア）
写真提供：読谷村史編集室

移民の戦争体験

1942年から45年にかけて移民の送り出しはほとんどなくなりますが、海外へ渡ったウチナーンチュたちはそれぞれの地でさらに厳しい状況に追い込まれます。
アメリカでは、強制収容所へ送られていきました。ブラジルでは、日本語禁止令が発令され、日本語を使用しただけで取り締まりの対象となりました。ペルーでは、排日暴動が起こり襲撃を受けたり、日系社会の中心的存在と見られた人たちはアメリカに連行され強制収容されたりしました。ニューカレドニアで暮らしていた人々のなかには、強制収容のためオーストラリアまで連行され、戦後になってもニューカレドニアの家族と再会が果たせなかった人もいます。また南洋群島でも、たくさんの人々が地上での戦争に巻き込まれました。移住先から教育を受けるために沖縄の親戚の元にいた人たちは沖縄戦を経験し、戦後数年経ってやっと家族の元へ帰れた人もいました。このように海外移住者も大変苦労しましたが、沖縄の惨状を聞いた人びとは沖縄救済活動に取り組み、沖縄の人々を支えてくれました。

戦後移民

第二次世界対戦後、ウチナーンチュたちは南北アメリカを除く移住先から強制的に引き揚げさせられ、たくさんの人々が沖縄に戻ってきました。戦争で荒廃した沖縄は、これにより急激な人口増加に見舞われます。また、アメリカの占領下にあった沖縄では、土地の強制接収がなされるなど、人々は仕事や生活をするのが困難となっていきます。そのような沖縄から、琉球政府や民間機関を通じて、または呼び寄せ等を通じて、再び移住が始まりました。
戦前・戦後を通じて人々は様々な苦労を強いられましたがそれも乗り越え、現在では子孫が現地の社会で活躍し、また沖縄へ想いを寄せています。

参考資料
沖縄県教育委員会（1974）『沖縄県史　第７巻　各論編６』
高良倉吉（1976）「第５章・第２節　ソテツ地獄　４　移民と出稼ぎ」（648―660 頁）『沖縄県史　第１巻　通史』沖縄県教育委員会
飯島真里子（2016）「移動する沖縄女性―ハワイ・フィリピンをめぐって」（209―223 頁）『沖縄県史　各論編８　女性史』沖縄県教育委員会
新垣安子（2016）「南米への女性移民―ペルー・ブラジル・アルゼンチンを中心に」（224―238 頁）『沖縄県史　各論編８　女性史』沖縄県教育委員会
鳥越皓之（2013）『琉球国の滅亡とハワイ移民』吉川弘文館
比嘉道子（2003）「歴史からみた出稼ぎ・移民」（126―133）『別冊　環６　琉球文化圏とは何か』藤原書店

執筆：金城さつき

沖縄の移民クイズ

Let's Try！

□に当てはまる　言葉を考えてみよう！

Q.1 移民とは□や□を
するために外国や他の地域に
移り住むことである。

Q.2 沖縄移民の歴史は
約□年前に始まった。（2020年時点）

Q.3 沖縄の人が最初に移民した場所は
□。

Q.4 そのころの沖縄では
□人に一人が移民したと言われている。

Q.5 戦後で物がなかった時代、
ハワイに移民した日系人たちが
送ってくれた豚の数は□頭。

Q.6 外国に行くときは□に乗って
一番遠い国までは2~3ヶ月かかった。

Q.7 □には
もうひとつの沖縄と呼ばれる街、
コロニアオキナワがある。

Q.8 ブラジルのカンポグランデ市で
沖縄料理の□が無形文化財
さらに郷土食として認定されている。

Q.9 「世界のウチナーンチュ」は
世界に約□人いる。（2020年3月時点）

Q.10 10月30日は□の日。

QUIZ

【このページのこたえ】 ①仕事や生活 ②120 ③ハワイ ④10 ⑤550 ⑥船 ⑦ボリビア ⑧沖縄そば ⑨42万 ⑩世界のウチナーンチュ

（2020年沖縄県調べ）

column

沖縄に暮らす日系移民の声

Voices of Japanese immigrants living in Okinawa

異文化で育ったルシィアンナさんから ウチナーンチュへのメッセージ

自分と相手との
共通点をみつけて
喜びを分かち合いたい

撮影：PIETRO SCOZZARI

大城美香ルシィアンナ

ブラジルのサンパウロ サント・アンドレで1978年に生まれ
ルーツを沖縄県豊見城市に持つ日系ブラジル人3世。
父はレストラン（Bar&Lunch）をファミリーで経営
幼いころはブラジルの現地の小学校に通っていた。
現在沖縄在住。3姉妹を育てるワーキングマザー。

三姉妹

家族（真ん中の赤ちゃんがルシィアンナさん）

祖父母の結婚写真

私はブラジルの日系3世です。おじいちゃんがブラジルに移住したため、私はブラジル国民として育ちました。しかし父が仏壇を継がなければいけないということで、13歳のときに沖縄に戻って来ました。黒い瞳、黒い髪の私は一見するとまったく普通の日本の女の子ですが、当初は日本語も話せず、読み書きもできないことから苦い思いをしました。

沖縄の中学校に転校することになったとき、やはりみんなとどこか違うからなのか、ある日突然クラス全体が私を避けるようになりました。挨拶をしても無視され、仲間はずれにされてしまいました。私自身は「別のクラスの人と仲良くすればいい」とあまり気にすることはなかったのですが、ブラジルの友達ならきっと、「美香をいじめるようなことがあったら私たちが許さない！」と言ってくれていたに違いないと思いました。私たち日系人はどこへ行ってもやはり同じような体験をし、「外人」と言われていじめの対象になるなど、共通点も多いように感じます。

さて、最近外国の方々がコンビニやスーパーなどで働いているのを見かけることが多くなりました。あの時代の私たちのおじいちゃんやおばあちゃんも同じような気持ちで働いていたのだろうか、と思うと「がんばってね」と声をかけたくなるのは私だけでしょうか。２０２０年の東京オリンピックを控え、日本はさらに世界から注目され、外国人と関わる機会が増えていく世の中になっていきます。これからは「外国人に気を配る」だけではなく、「自分の言いたい事、伝えたい事を言える」国際人としてのコミュニケーション力が求められるようになります。

当たり前と思っていたことが当たり前ではないこと、視野を広げて異文化を理解し、多様性を認め、受け入れられるように私たち自身も変化していかないといけないように思います。生まれ育った環境や持っている文化が違う相手を非難するのではなく、「自分は自分」、相手との共通点をみつけて喜びを分かち合うことが何より大切だと強く感じています。

私自身、イントネーションがおかしいと言われることがずっとコンプレックスでした。しかし、ルーツやアイデンティティについて人前で話す機会が増え、これは「自分の個性」であることを改めて感じるようになり、ひとつのコミュニケーションツールだと思えるようになってきました。大変な苦労もありましたが、私は沖縄というルーツをもっていることを本当に誇りに思っています。

ルシィアンナさん。仲良しだったレストランの常連さんと

海外の味を沖縄につなぐ
世界のウチナーンチュ

県内には、海外の味を沖縄に届けている
世界のウチナーンチュ達が数多くいます。
その一部を、世界のウチナーンチュの
ひとりであるピエトロさんと一緒に
ご紹介します。

From Latin America
to Okinawa,
One World!

撮影：PIETRO SCÒZZARI（ピエトロ・スコッザリ）
イタリア、ボローニャ生まれ。
30年間、トラベルフォトグラファーとして世界を旅し、
ユニークな視点から、世界の人々の瞬間、暮らしを撮り
続けている。現在は那覇在住。沖縄の行事、暮らしなど
“沖縄”を世界に発信し続けている。

「父のコーヒー」と「母の味」
両親の大切な財産を活かす食堂を

山下明生さん（名護市・ブラジル食堂）

沖永良部出身で、昭和初期にブラジルに渡った父と、自由移民としてブラジルに渡った母と7歳の頃に家族で沖縄に移住しました。名護に住み、そばと弁当を出す店を開いたとき、“日本人においしいコーヒーを飲ませたい”という想いから、父の移民先で働いていたコーヒー農園で習得した焙煎技術を活かしブラジルコーヒーを出すようになりました。両親が残してくれた「大切な財産」であるこの店では、「母の味」ともいえるブラジル料理をメニューに取り入れています。ポルトガル語は話せず、ブラジルでの記憶もほとんど残っていませんが、サッカーの試合は日本もブラジルも本気で応援します！

高校進学を機に単身沖縄へ
生まれ育ったブラジルの料理を提供

浦崎涼子さん（中央）（読谷村・Cafe Beija-flor）

両親が仕事でブラジルに渡り、ブラジルで生まれ育ちましたが、中学校卒業時に日本の高校に進学することを決めました。祖母の家が沖縄にあったため、中学３年生の頃にひとりで沖縄に渡りました。親元を離れ25年の時を経て、沖縄に戻った両親と共に長年の夢だったブラジルの家庭料理も提供する小さなカフェをオープンさせました。お店の名前であるベイジャフローとは、ポルトガル語でハチドリという意味です。『ハチドリが花の蜜に吸い寄せられるように、たくさんのお客様に立ち寄ってほしい』そんな意味をカフェの名前に込めました。（取材：島袋桃緋）

故郷の味を提供して27年
仕事と子育てに奮闘する日系三世

目差パトリシアさん（沖縄市・Salsa）

1987年、店主のパティーさんが高校を卒業したころペルーの治安が悪化したため、祖父母の故郷である沖縄へ家族で移住しました。故郷の味を提供するペルー料理の店は、営業をはじめてもう27年になります。二人の小学生の母親として日々仕事と子育てに追われて、今ではペルーで暮らした年数よりも、沖縄で暮らした年数の方が長くなりましたが、生まれ育った国の言葉も大切に思い、家庭では子どもたちにスペイン語を教えています。（取材：仲間周）

1989 年にペルーから沖縄へ
周りの勧めでお店をオープン

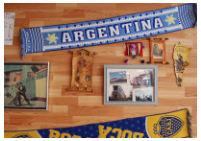
比嘉ファミリーのジョバナさん
（沖縄市・TitiCaCa）

故郷ペルーの治安悪化が進む1989年、祖父母のルーツである沖縄に家族で移住しました。

ペルーにいる頃から、日曜日は家族で食事する習慣があったので、沖縄でも日曜日は特別で少し豪華なペルー料理を食べて家族で過ごしていました。母の料理は美味しいと評判で、注文を受けることもよくあり、周りから「レストランをやってはどう?」と勧められ、TiTiCaCaをオープンしました。家具、食器などは日系人の友人達の協力で集めることができました。お店の名前は、ボリビア出身の父とペルー出身の母、ボリビアとペルーの間にあるチチカカ湖からつけました。（取材：金城千尋）

海洋博覧会を機にアルゼンチンから移住
「故郷と関係あることを」と食堂をオープン

諸見里登代子さん
（浦添市・Caminito）



東村出身の登代子さんは 8 歳の時、すでにアルゼンチンに移住していた祖父の呼び寄せにより家族で移住しました。沖縄に戻るきっかけとなったのは、母が海洋博覧会（1975 年 7 月―1976 年 1 月）を見学しようと一人で沖縄を訪れたことでした。この頃アルゼンチンでは経済状況や治安が悪化していたため、登代子さんと兄、弟の 3 人で、母親とともに沖縄に移り住むことを決めます。2008 年にアルゼンチン移民 100 周年記念が行われるため､アルゼンチンを3週間程訪れたとき、「アルゼンチンに関係があることをしたい」と思い、沖縄に戻るとスペイン語で「細い路地」という意味のカミニートという名前のお店を開きました。（取材：桜井有子）

南米の味と文化を伝えるのは
アルゼンチン出身のギタリスト

シルビオ・モレノさん
ユウコ・リンダ・モレノさん
（那覇市・ペーニャAMANCAY）

シルビオさんはアルゼンチンに生まれ12歳でギタリストとしてプロデビューしました。

1970年代にアルゼンチンが軍事政権となり学生運動者や音楽家などが弾圧されたため、ヨーロッパ、ボリビア、ペルーなどで活動し、帰国した直後に捕まってしまいます。約40数年前「安全だ」と紹介され沖縄へ亡命しました。ユウコさんは神奈川県で生まれ育ちました。学生時代に鶴見沖縄県人会で三線を習い、その後来沖しシルビオさんと出会いました。シルビオさんは、アルゼンチン人としての誇りを大切にし、本場のアルゼンチンの文化を伝えたい、そして南米の人たちが何かあった時に屋根（支え）になるような場所を作りたいと1982年にお店をオープンしました。（取材：新里聡）

アルゼンチンをルーツに、家族で生み出すヤンバルの味

比嘉ミリアンさん（中央）
（名護市・ヤンバル食堂）

与那城村出身の父と、平安座島出身の祖母から生まれた母と、高校までアルゼンチンで暮らしていたミリアンさんは、1989 年に沖縄に移住してきました。全ては積み重ねと信じて、「その日にできる事をきちんとやる」ことがモットーです。”いいもの”とは高いものではなく“体に良いもの”と、食材は作り手の顔がわかる無添加のものを中心に選んでいます。2018年6月にオープンしたお店は「やればできる」ということを伝える場所だそうです。アルゼンチンにルーツを持つ母を誇りに思う息子の夢沙矢さんが料理に興味を持ったきっかけは母のミリアンさんです。メニューには沖縄の家庭料理以外にもアルゼンチンのエンパナーダも並んでいます。

Let's Study!

沖縄県内では「世界のウチナーンチュ」に関わるスポットやイベント、事業がいくつもあるんです。
ぜひ、行って、見て、参加して、「世界のウチナーンチュ」について理解を深めてくださいね。

Let's Study!
行ってみよう

見て楽しむ！ウチナーンチュスポット

一緒に行こう

01 中部・北部まわりルート

當山久三銅像→當山紀念館→金武小学校→勝連城址→うるま市民芸術劇場

金武町

當山久三銅像

金武町役場裏にある沖縄移民の父と称された當山久三の銅像。移民団がハワイへ出発する前に有名な「いざ行かん　吾等の家は　五大州」の歌を詠み、1903 年、金武村の青年45名を率いて旅立ちました。

當山紀念館

1935 年 5 月に、海外移民からの寄付金で建設された當山久三の紀念館。戦前は移民教育の施設として利用されていたこともあります。現在は海外・世界のウチナーンチュの資料が見れます。
【住所】金武町字金武 1 番地
【開館時間】9 時～ 16 時（無料）
【休館日】土・日・祝日（慰霊の日）・年末年始

旧校舎は
海外からの送金で
建てられたよ

金武小学校

1882 年に創立した金武小学校。1925 年には、海外移民からの寄付で沖縄で最初の鉄筋コンクリート造の校舎が建てられました。老朽化により 1984 年に新校舎に建て替えとなりましたが、現在も旧校舎のデザインを引き継いでいます。

勝連城址から
ホワイトビーチが
一望できるよ

うるま市

海から豚がやってきた モニュメント

戦後間もない1948年9月27日、ホワイトビーチに550頭の真っ白な豚がアメリカから到着しました。ハワイ移民を中心に、戦禍で沖縄の豚が失われたことを憂いて送ったのです。そのモニュメントが、うるま市民芸術劇場敷地内（入場自由）にあります。

モニュメント（入場自由）
うるま市民芸術劇場敷地内
【住所】沖縄県うるま市字仲嶺 175

沖縄移民・世界のウチナーンチュに
まつわる場所を訪れてみよう！

02 南部まわりルート

謝花昇 銅像→南風原文化センター→沖縄県立公文書館→那覇港

八重瀬町

謝花昇 銅像

参政権など政治上のウチナーンチュの権利を求めた謝花昇（1865 ～ 1908）。當山久三らと政治結社「沖縄倶楽部」を組織し、沖縄の民権運動を起こしました。この政治活動は後の沖縄移民に大きく影響を与えました。
【住所】八重瀬町東風平 1014

南風原町

南風原文化センター

ハワイ、北米、ペルー、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア移民の様子を伝える展示コーナーがあります。南風原の先輩とその子孫たちである 2 世・3 世が世界中にいることを知ってもらうために常設展示しています。
【住所】南風原町字喜屋武 257
【電話】098-889-7391（閲覧室）
【開館時間】9:00 ～ 18:00 【入館料】あり
【休館日】水曜／年末年始

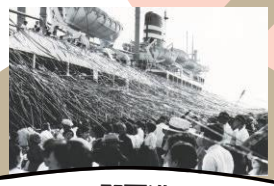
いつでも見れます！

資料がデジタル化
されているので、
データをHPから
取得することもできます。

沖縄県公文書館

沖縄県の歴史に関する貴重な資料がある沖縄県公文書館。沖縄移民・世界のウチナーンチュ関連の資料も多く所蔵しています。
【住所】南風原町字新川 148 番地の 3
【電話】098-888-3871（閲覧室）
【開館時間】9:00~17:00
【休館日】月曜日、国民の休日、年末年始、慰霊の日
【入場料】なし

那覇市



那覇港

夢と希望を抱き移民者が出発したのは「那覇港」でした。当時は多くの家族や友人が駆け付け「もーきていくーよー（儲けてこいよー）」という言葉と共に、出発する人を見送りました。

写真提供：キーストンスタジオ蔵　那覇市歴史博物館

Let's Study!
行ってみよう

県内のウチナーンチュ関連イベント※

毎年10月前後に、さまざまな「世界のウチナーンチュ」関連のイベントが開催されています。学び、繋がり、楽しめるイベントにぜひ出かけてみてください。

	沖縄県主催団体		イベント
	沖縄県交流推進課	2019年10月	「世界のウチナーンチュの日」トークイベント@国立劇場おきなわ 世界を舞台に活躍するウチナーンチュである、カンボジアで小児科医を務める嘉数真理子さんによる基調講演、南米等からの県系留学生等によるプレゼンテーション実施
	県機関		**イベント**
	県立博物館・美術館	2019年10月 ～12月	「世界のウチナーンチュ-移民の記録-」展示
	県公文書館	2019年10月	「移民は生きる」企画の実施(県系移民関連の講演、比嘉太郎監督の「ハワイに生きる」上映)、比嘉太郎パネル展の開催
	応援団体・企業		**イベント**
★1	コザ・インターナショナルプラザ（KIP）	2019年10月	世界のウチナーンチュフェスティバルin沖縄市~ラテン☆スペシャル~@沖縄市パルミラ通り
	WUB沖縄	2019 年 10 月	WUB沖縄第2回アジア会議 @沖縄ハーバービューホテル
	那覇市平和通り商店街振興会	2019年10月	「お帰りなさい世界のウチナーンチュ」 @那覇市平和通り商店街「商人塾」
	JICA沖縄センター	2019年11月	おきなわ国際協力・交流フェスティバル @JICA沖縄センター
	比嘉太郎会	2019 年 10 月	比嘉太郎ふるさとシンポジウム @北中城村立中央公民館
	うるマルシェ	2019 年 9 月	海ぶたマルシェ@うるマルシェ
★2	那覇市若狭公民館	2019 年 9 月 ～10 月	世界のウチナーンチュ直伝の南米!南米の家庭料理教室@那覇市 若狭公民館

※ 2019年に開催されたイベント情報です。2020年以降のイベント開催については、各主催者にお問い合わせください

★1 世界のウチナーンチュの日 in沖縄市～ラテン☆スペシャル～

在住外国人を支援するコザインターナショナルプラザが運営する音楽やダンスを通して世界のウチナーンチュの文化を楽しむことができるイベント。2019年は10月に開催、日系人の参加者も多い。
【主催】コザインターナショナルプラザ・沖縄市
【お問合せ】098-989-6759

★2 世界のウチナーンチュ直伝の南米! 南米の家庭料理教室

南米から沖縄に移住した日系人を講師に招き、各国の料理と文化について学び、交流を深めた。
【主催】那覇市若狭公民館

県内市町村における ウチナーネットワーク啓発パネル展

毎年10月～12月の期間で、県内の多くの市町村において、移民の歴史やウチナーネットワークに関するパネル展を開催しています。実施時期等は各市町村へお問い合わせください。

2019年度実施市町村：那覇市、宜野湾市、名護市、糸満市、豊見城市、沖縄市、西原町、八重瀬町、金武町、久米島町、読谷村、北中城村、東村、今帰仁村

番外編 あなたのまちの「移民の歴史」を市町村史でみてみよう！

県内のほとんどの市町村で、「市町村史　移民編」の中に移民の歴史が含まれています。「市町村史　移民編」は地域の図書館などに置いてありますが、読谷村史編集室によって2018年3月に発行された「写真で見る読谷村の移民・出稼ぎ世界のユンタンザンチュ」のようにWeb上に情報開示している市町村もあります。ぜひチェックしてみてくださいね。

県外にもあるよ

JICA 横浜 海外移住資料館

横浜で見る移住の歴史から日系人の現在

日本人の海外移住の歴史、そして移住者とその子孫である日系人について、広く一般の方々に理解を深めてもらうことを目的として開設されました。

海外にもあるよ

當山久三 石碑（ハワイ州）

写真提供：比嘉柊太郎

當山久三が沖縄初の海外移民をハワイに送り出してから100周年を記念した「町移民百周年事業」の一環として、石碑がハワイに移送されました。
【場所】ハワイ沖縄センター

Let's Study!
読んでみよう

世界のウチナーンチュに思いを馳せる

沖縄移民を知る本10選

ぜひ一読してほしい、移民たちの思いや歴史に触れることのできる関連書籍をご紹介します。

1『移民は生きる』

ハワイ生まれの沖縄系二世で、第２次世界大戦では米軍の通訳兵として沖縄へ赴き、多くの住民の命を救った比嘉太郎の著。戦後の沖縄救済運動を中心にまとめられています。

比嘉太郎編著（1974） 日米時報社

2『空白の移民史 ―ニューカレドニアと沖縄―』

ニューカレドニアで自分のルーツを求めて苦悩する二世たちに寄り添い、その歩みを記した一冊。2018年度文化庁映画大賞を受賞した映画『まぶいぐみ～ニューカレドニア引き裂かれた移民史～』の原作本。

三木健（2017）シネマ沖縄

3『沖縄移民女性史』

沖縄県婦人連合会創立30周年を記念して出版された。南米移民として海を渡った女性たちによる貴重な体験記。

沖縄県婦人連合会編（1979）
沖縄県婦人連合会

4『眉屋私記』

やんばるの屋部村、眉屋一門の150年を通し、名も無き人々の生き様、歩みから近代沖縄の姿を描き出した。上野英信が沖縄からメキシコまで10年の取材を通して書き上げた記録文学。

上野英信（1984）潮出版社
（復刊2014、海鳥社）

5『もう一つの沖縄文学』

沖縄の作家たちが、シベリア、ハワイ、台湾、インドネシアなどの海外を舞台に描いた小説群を紹介。埋もれた作品を通して県系人の海外体験を知ることができる。

仲程昌徳（2017）ボーダーインク

6『アメリカを動かした日系女性 ―第2次世界大戦中の強制収容と日系人のたたかい―』

第二次世界大戦中におけるアメリカでの日系人の強制収容と、その保証を求めて戦った県系女性メアリー・ツカモトの克明な体験記。

メアリー・ツカモト・エリザベス・ピンカートン著、宇久眞雄、
垣花豊順、與儀憲徳、赤嶺健治、島袋善光訳（2001）琉球新報社

7『沖縄と「満州」 ―「満州一般開拓団」の記録』

沖縄から 「満州一般開拓団」として中国東北部にわたった人々の現地での生活、苦難の逃避行などを当事者への聞き書きを軸に丹念に掘り起こした貴重な記録

沖縄女性史を考える会編著（2013）明石書店

沖縄県立図書館「沖縄本ナビゲーション2018年度版」
沖縄の移民を知るための10冊 町田宗博（琉球大学名誉教授）選

8『世界のウチナーンチュ』(1・2・3)

1984年から2年間にわたり、世界24カ国300人以上の県系人が登場した新聞の連載記事をまとめたもの。

琉球新報社編集局編著
（1986） ひるぎ社

9『日本移民の地理学的研究―沖縄・広島・山口』

沖縄・広島・山口を中心に、日本移民の社会的歴史的背景を、豊富な統計資料をもとに分析し、移民史研究に大きな影響を与えた学術書。

石川友紀（1997）榕樹書林

10『海からぶたがやってきた！』

第二次世界大戦により、甚大な被害を受け食糧難となった沖縄に、ハワイの県系人らが決死の覚悟で550頭の豚を船で送り届けたという史実に基づく児童向け図書。

2019年「レッツスタディー！ウチナネットワーク事業出前講座」実践者の國場さん。國場さんは、地元であるうるま市と彼女が愛する豚を繋ぐ歴史を地元の子どもたちに伝えました。

下嶋哲郎（1995）くもん出版

移民教材３部作

沖縄移民・世界のウチナーンチュを伝えるために作成された教材。
編集：沖縄NGOセンター
発行：世界のウチナーンチュ大会実行委員会

【沖縄県立図書館】

沖縄県立図書館が企画した「沖縄を知るための10冊（移民編）」で紹介された本は同図書館で借りられるほか、県内の各図書館に置いてあるものもあります！

沖縄県系移民一世ルーツ調査 ルーツ探しのヒントがここに？！

沖縄県立図書館では2016年より、所蔵資料から移民一世の名前や渡航日、出身地域などを探す調査・相談サービスを実施しています。ご自身のルーツ探しのヒントがもらえるかもしれません。

空白の移民史「まぶいぐみ」上映会にて

映画「まぶいぐみ」の原作「空白の移民史」の著者である三木健さんは映画上映会のスピーチで「沖縄系の人たちは、半世紀余の空白を埋めるように、新たな橋を架け、新しい歴史をつくったのです。これこそが『まぶいぐみ』なのです」と語りました。上映後、参加者からは「ニューカレドニアにもウチナーンチュがいたんだ」という驚きの声や「家族の絆をもう一度見直すきっかけになった」という声が聞かれました。

Let's Study!
参加してみよう

「世界のウチナーンチュ」の一員として プログラムに参加してみよう

世界のウチナーンチュに関連した様々な研修を沖縄県が開催しています。体験者の思いに触れて一歩踏み出してみよう！

■ ウチナージュニアスタディー事業（UJS）

県内の中高生が、世界各国のウチナーンチュ子弟たちと生活を共にしながら沖縄の歴史や文化を学びます。
ウチナーンチュとしての絆を深め、将来のウチナーネットワークを担う人材を育成します。
対象：県内の中学生・高校生、海外県系子弟の中学生・高校生県外県系子弟の高校生

■ World Youth Uchinanchu Meeting（WYUM）

海外派遣・交流事業に関わった方や留学した方、県内在住の海外出身者の方等が集い、グループワークの形式でウチナーネットワークについて議論します。
対象：世界のウチナーネットワークに 関心のある10代～40代の方

■ 海邦養秀ネットワーク構築事業

県内の若者を対象とし、海外の県人会でのホームステイや現地県系人との交流を通して、将来の世界のウチナーネットワークを担う人材を育成します。
対象：県内の高校生・大学生

■ ウチナーンチュ子弟等留学生受入事業

県系の移住者子弟やアジアの優秀な人物を受入れ、県内大学での修学や、伝統芸能の習得、企業研修等を行います。沖縄で学び、県民と交流を深めることで、沖縄との架け橋になる人材を育成します。
受入国：海外県人会のある国及び中国・台湾

Real voice

いつかUJSのメンバーと沖縄版ニーセーターツアーをやりたいです

比嘉柊太郎

2019年2月沖縄県高校生海外雄飛プログラムでハワイへ渡航。そこで初めて世界のウチナーンチュに触れる。その経験から同年夏に開催されたウチナージュニアスタディー事業に参加。

プログラムでは海外から来た世界のウチナーンチュの同世代の若者が、幼い頃から琉球舞踊を習っていたり、三線を演奏したりするのをみて､沖縄に対する熱い思いを何度も感じ、沖縄をもっと大切にしていこうと思いました。海外参加者のひとりは期間中に親戚が見つかり、私も胸が熱くなりました。沖縄移民史は学べば学ぶほど沖縄が持つ魅力について考えることができると思います。それを当事者である世界のウチナーンチュの若者とともに学ぶことができるのが、この研修の最大の魅力です。沖縄が大好きなひとはぜひ参加して、一緒に世界のウチナーネットワークの輪を広げていきましょう！

Real voice

モザンビークに飛び出すきっかけになりました。

比嘉修平

2018年海邦養秀ネットワーク構築事業に参加、その後名桜大学学生サミット学生代表を務め、現在はモザンビークの日本大使館に勤務している。

Olá! しゅうへいです。アメリカ・ロサンゼルスの空港に到着した時､「めんそーれー！」と温かく迎えられ涙がぽろぽろこぼれ、世界のウチナーンチュの温かさに感動しました。現地のウチナーグチクラスで、83 歳の方の「生まり島ぬ言葉忘ねー、国ん忘ゆん（生まれた島の言葉を忘れたら、その国のことも忘れる)」という言葉を聞き、私も沖縄に生まれたのだから、ウチナーグチは話せるようになろう！と心に誓いました。ウチナーンチュが持つパワーの可能性は無限大だと信じています。世界中にいるウチナーンチュは、いつでもあなたを待っています！

引率者の声

遠い異国のウチナーンチュ、沖縄に住んでいる人よりウチナーンチュかも！？

沖縄県の事業「海邦養秀ネットワーク構築事業」は、県内の学生が外国の県人会の方々とのホームステイや交流を通じて、国際的な人材育成、現地若者との絆の強化、現地県人会の活性化、ネットワークの構築を目的とし、私もここ数年携わっています。
海外に住む県系人一人ひとりにストーリーがあり､家族や親戚､友達同士のコミュニティーの中にヒストリーがあり、県人会では苦楽を共に支え合った同志としての繋がりを肌で感じることができる経験でした。
バンクーバーでは、京都出身の父と沖縄出身の母を持つカナダ生まれの 2 世と、そのご家族と出会いました。国籍はカナダ、顔は日本人の彼が日本へ行った際、日本人顔なのに日本語がうまく話せず、周りから変な目で見られたのをよく覚えていると仰っていました。外見から日本人として見られる自分と、外国人として育った自分との違いに悩む２世や３世の方々には、私達が想像もできない葛藤があったのだろうと思います。
アルゼンチンでは「沖留会」という若者グループと行動を共にしました。現地で生まれ育った彼らは、母国語のスペイン語と英語と若干の日本語が入り交じり、生活スタイルはアルゼンチン人そのもの。
しかし、彼らといると沖縄を思う心、文化・歴史への尊敬、そして「ウチナーンチュ」というアイデンティティを随所で感じるのです。方言を知っていて､三線が上手に弾けて、威風堂々とエイサーを踊る姿などを見ていると、私が沖縄に住んでいても出来ないことを地球の裏側にいる県系人が体現していることに驚き、感動しました。

Let's Study!
参加してみよう

ウチナーンチュ子弟等留学生受入事業

県系の移住者子弟やアジアの優秀な人物を受入れ、県内大学での修学や、伝統芸能の習得、企業研修等を行います。沖縄で学び、県民と交流を深めることで、沖縄との架け橋になる人材を育成します。

仲宗根ルシアミカエラ
おばあさんが作った、ちゃんぷるーがすきです。

アルゼンチンで沖縄の文化を次の世代にひろめたいです。
新門マルティン

ファンキョンソン
沖縄と韓国の歴史を紹介できるガイドになりたいと思います。

安富祖末吉
アレハンドロ
沖縄の音楽は、とてもきれいで大切なモノなので、みんなでやりましょう！

レッツスタディー！ウチナーネットワーク事業

指導者養成講座

県内の教員や移民に関心がある方を対象に、ウチナーネットワークについて理解を深め、移民の歴史、県系人の移住地での生活・文化について学び、伝える指導者の養成を目的にした講座を開催しています。講座では、実践的な授業計画の他、意見交換を行うふりかえり会を実施し、指導者同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

左：写真から情報を読み取るフォトランゲージの様子
右：グループでまとめた意見を発表する様子

出前講座

県内の学校や教育団体、市町村でのイベントなど幅広く出張講座をしています！世界のウチナーネットワークから歴史、地理、国際理解、異文化交流、多様性などさまざまな学びのプログラムを提供しています。

2019年10月与那国島久部良小学校にて出前講座
様々な国の民族衣装で世界に触れました

World Youth Uchinanchu Meeting (WYUM)

次世代討論会

世界のウチナーネットワークに関心のある若者や県の交流事業の経験者等が集い、ネットワークの継承と発展を図るために今後どう取り組んでいくべきかをテーマに議論します。

世界ウチナーンチュ学生サミット

World Uchinanchu Youth Meeting

名桜大学で開催される学生による世界のウチナーンチュのためのイベントです。世界各国から来沖している研修生、留学生、県内の世界のウチナーンチュに関わる人たちが集い、ディスカッションや文化紹介を通して交流し、連携の輪を広げます。

【主催】名桜大学国際交流センター
世界ウチナーンチュ学生サミット実行委員会

WUB

Wordwide Uchinanchu Business

世界ウチナーンチュビジネスアソシエーション沖縄支部（省略：WUB沖縄）は、世界各地のウチナーンチュのビジネスマンが連携し、国際的ビジネスネットワークの構築と会員相互のビジネス活動の促進を図ることを目的として設立された非営利団体です。2ヶ月に1度、会員を対象に定例会を持ち、外部講師を招いた講演会も行うなど親睦を深めています。また、10月は世界のウチナーンチュの日関連イベントとして「WUB沖縄 アジア会議」を行っています。

【問合せ先】Mail:wubokinawa0@gmail.com
WEB:wubokinawa

WYUA

World Youth Uchinanchu Association

「第5回世界のウチナーンチュ大会」に向けて、2011年にWYUA(ユア)の前身となる「若者・学生事務局」を結成し、大会期間中にWYUAを発足。戦前戦後の沖縄を支えてきた海外の沖縄県系のネットワークや、沖縄県内の青年ネットワークを最大限に生かし、若者の挑戦を通して、文化・芸能・歴史の継承や青年活動など地域社会の発展に貢献することを目的として活動中。

【問合せ先】Mail:info@wyua.okinawa
WEB: wyua.okinawa

Let's Try!

世界中にいる世界のウチナーンチュにあなたの声を届けよう！

1.世界のウチナーンチュに聞いてみたいこと

2.世界のウチナーンチュと一緒にやってみたいこと

なまえ

おわりに

2016年の第6回世界のウチナーンチュ大会閉会式において、沖縄県知事と共に二人の南米出身の県系三世が登壇し、世界のウチナーンチュの日宣言が読み上げられました。その言葉に多くの人々が心を打たれ、ウチナーンチュの絆を再認識するとともに、国内外に広がるウチナーネットワークを沖縄の持続可能な発展にどう活かしていくのか、という課題を投げかけられている気がしました。

グローバル化社会を背景とし、人々の生活や社会、国際関係は急速に変化しています。将来を担う若者達には、持続可能な社会づくりの観点から、地球規模の諸課題や地域課題を解決していく資質や能力が求められています。その力を高めるためにも、自国の伝統や文化を尊重するのと同じく、進んで外国の文化への理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが重要になってきます。

世界に雄飛したウチナーンチュ達は、自他の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与してきました。国境を越えてウチナーンチュ同士が支え合い、移民先の国々の人々と手を取り合って共に暮らしながら、故郷沖縄の人々が危機に瀕した時には、いち早く支援の手を差し伸べてきた先人達の背中は、「誰一人取り残さない社会」を目指して、現代の沖縄で生きる私たちに多くの学びを与えてくれるものと考えております。

この教材を手に取った皆様には、世界に目を向け、ウチナーネットワークの継承と発展に何が必要か共に考えて欲しいと願っております。

沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課

レッツスタディー！
世界のウチナーンチュ Let's Study!

"Worldwide Uchinanchu"

知って、伝える、はじめの一冊。

▪ **制作協力**（あいうえお順）

安富祖末吉アレハンドロ
新垣誠
伊佐正アンドレス
大城美香ルシィアンナ
奥山春那
喜久里瑛
金城さつき
金城千尋
國場麻梨江
桜井有子
島袋桃緋
新里聡
仲宗根ルシアミカエラ
仲間周
新門マルティン
PIETRO SCÒZZARI
比嘉アンドレス
比嘉柊太郎
比嘉修平
比嘉千穂
황경선
藤浪海
三木健

▪ **資料・情報提供**（あいうえお順）

うるま市民芸術劇場
英国沖縄県人会
沖縄県
沖縄県人会兵庫県本部
沖縄県立図書館
沖縄県公文書館
沖縄市役所
Café Beija-flor
株式会社シネマ沖縄
caminito
京都沖縄県人会
金武町役場
金武町史編纂室
コザインターナショナルプラザ
Salsa
JICA 横浜 海外移住資料館
世界若者ウチナーンチュ連合会
台湾在住沖縄県人会
TiTiCaCa
東京沖縄県人会
那覇市歴史博物館
南風原文化センター
ハワイ沖縄センター
広島沖縄県人会
ひやみかち移民桜の会
ペーニャ AMANCAY
ペルー沖縄県人会
ブラジル食堂
北米沖縄県人会
北海道沖縄クラブ
宮城沖縄県人会
名桜大学国際交流センター
八重瀬町役場
八重瀬町具志頭歴史民俗資料館
ヤンバル食堂
横浜・鶴見沖縄県人会
与那国町立久部良小学校
読谷村史編集室
若狭公民館
WUB 沖縄
One Okinawa

NPO法人 沖縄NGOセンター
沖縄県宜野湾市宜野湾3-23-52　TEL:098-892-4758
Mail:onc@oki-ngo.org　HP:www.oki-ngo.org

▪ **制作　沖縄 NGO センター**

玉城直美
吉田知津子
新膳朋子
仲村明
永田有希
佐々木綾菜

▪ **編集／デザイン**

セソコマサユキ
小野真弓

沖縄県文化観光スポーツ部
交流推進課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
TEL(098)866-2479
FAX(098)866-2960
E-mail:aa082400@pref.okinawa.lg.jp

※この教材のPDFデータはWUN（P9に掲載）のウェブサイトからダウンロードすることができます。

発行日:2020年2月